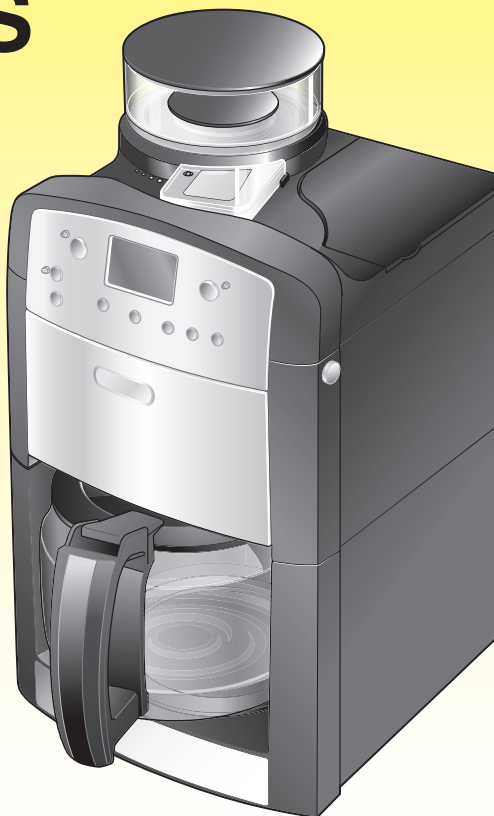


デロンギ 全自動ドリップコーヒーメーカー

型式番号 **CMG310E-S**

取扱説明書

家庭用



MADE IN CHINA

特長

- **ボタンを押すだけの全自動マシン**
ワンタッチで豆挽きから抽出まで、香り高いドリップコーヒーを淹れることができます。
- **コーン式コーヒーグラインダー（ミル）**
5段階のコーン式コーヒーグラインダーを搭載しています。お使いになる豆の種類や焙煎度に応じて、挽き具合を調整できます。
- **アロマ機能**
コーヒーの抽出がゆっくり行われ、コーヒーのアロマがより引き出されます。
- **プログラムタイマー**
予約した時間に、自動的にコーヒーが抽出されます。豆挽きからの抽出も可能です。
- **自動電源オフ**
コーヒー抽出から2時間後に、自動的にヒーターの電源が切れます。

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 3
仕様	4
各部の名称とはたらき	5 ~ 8
初めてお使いになる前に	9 ~ 10
コーヒーの抽出 （豆を使う）.....	11 ~ 12
コーヒーの抽出 （コーヒー粉を使う）.....	13 ~ 14
タイマー抽出の設定	15
アイスコーヒーの作りかた	16
お手入れ	17 ~ 20
故障かな？	21 ~ 22
アフターサービスについて	裏表紙

このたびは、デロンギ全自動ドリップコーヒーメーカー CMG310E-S をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」「注意」の2つに分け、明示しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



：禁止



：接触禁止



：水ぬれ禁止



：分解禁止



：ぬれ手禁止



：風呂・シャワー室での使用禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



：指示を守る



：電源プラグを抜く



警告

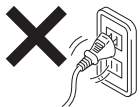
電源／コンセントについて

- ！ 電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
火災・感電の原因。

15A 125V



- ！ 取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
感電や発熱のおそれ。



- ！ コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

- ！ 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使用しない
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火するおそれ。

電源プラグ／電源コードについて

- ！ 電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
火災の原因。

- ！ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがをするおそれ。



警告

電源プラグ／電源コードについて



- 電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に相談する。
ショートや発火するおそれ。



- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



- 電源コードは破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない（加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物を載せる・挟み込むなど）

電源コードが破損している場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に相談する。
感電・火災の原因。



- 動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因。

使用中／使用後について



- 自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
故障や発火のおそれ。



- 子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使用しない
やけど・感電・けがをするおそれ。



- 異常が生じた場合は、使用を中止する
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで連絡する。
事故や故障の原因。



- コーヒー抽出中は本体上部の蒸気口から高温の蒸気（湯気）が出てくるので、絶対に顔や手を近づけたり、ふさがない
また、保温プレート周辺およびフィルターホルダー先端のドリッパーも高温になるので注意する。
やけどをするおそれ。



- コーヒーを抽出する際は、ガラスジャグを保温プレートの中央に乗せる
抽出したコーヒーが溢れ出て、やけど・感電・けが・故障の原因。



- 絶対に他の用途や屋外で使用しない。家庭用として使用し、業務用として使用しない
故障の原因。

電源について



- ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する
使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、電力会社に相談する。





注意

電源プラグ／電源コードについて



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
感電やショートするおそれ。



使用中は、電源コードを本体に触れさせない
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因。

設置場所について



本体は不安定なところや熱に弱いテーブルや敷物などの上では使用しない
火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。



水道や熱源の近く、屋外や湿気の多い場所（部屋）、特殊な環境（硫化ガスの発生する場所、塩害などのおそれがある場所）で使用しない
製品の劣化を早め、製品寿命に悪影響を及ぼす可能性、および火災・感電のおそれ。



壁や家具の近くでは使用しない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。

使用中／使用後について



本体が転倒、落下したとき、または外観（本体）に大きな破損・異常音等が見られるときは、使用せず、点検を依頼する
お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで連絡する。
感電・火災の原因。



続けて使用するときは、本体が冷めるまで（約 10 分）待つ
すぐに給水タンクに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。



本体に水やコーヒーをこぼさない
万一、こぼしてしまった場合は、直ちに電源を切り、使用を中止する。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで連絡する。
ショート・感電のおそれ。



ガラスジャグをのせたまま本体を動かさない
やけどやけがの原因。



電源を入れた後は、抽出が終わるまで、ふたを開けたり、ガラスジャグを保温プレートから降ろしたり、本体を移動しない
やけどや故障の原因。



本体を持ち運ぶ際は、フィルターホルダー先端のドリッパー部分を持たない
やけどのおそれ。



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災のおそれ。



ガラスジャグを直接火にかけたり、電子レンジで使用しない
破損してけがの原因。



グラインダーの作動中に豆ホッパー内部に指などを入れない
けがをするおそれ。



給水タンクに水が入っていない状態でのカラダきはしない
故障や火災の原因。

お手入れについて



本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う（挽き豆用シュートの清掃は除く）
高温部に触れると、やけどのおそれ。



本体や電源コード／プラグを水に浸したり、水洗いをしない
ショート・感電のおそれ。



挽き豆用シュートに指を入れない
けがをするおそれ。

仕様

製品名称／型式番号		デロンギ全自動ドリッパコーヒーメーカー／CMG310E-S
定格	電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
	消費電力	1000W
温度ヒューズ		229℃
外形寸法（ガラスジャグ含む）		幅 250 × 奥行き 300 × 高さ 395mm
質量（ガラスジャグ含む）		4.1kg（本体のみ：3.8kg）
容量	給水タンク	最大水量：1.4L
	豆ホッパー	最大量：約 140g
	ガラスジャグ	最大量：1.2L（10 MAX の目盛）
グラインダー		コーン式
材質	本体	ポリプロピレン、ステンレススチール
	給水タンク	ポリプロピレン
	ガラスジャグのふた	
	ガラスジャグのハンドル	
	ゴールドフィルター取っ手	ホウケイ酸ガラス
	ゴールドフィルターフレーム	
ガラスジャグ		合金（銅、錫、ニッケル）に 23.8K（金）2 重メッキ
ゴールドフィルター		

別売品

- 活性炭フィルター（5 個入り）【CMG310-ACF】
- ガラスジャグ【CMG310-GJ】
- エルフォ社（スイス）製ゴールドフィルター【CMG310-GF】



お求め方法 ▶ お買い上げの販売店または弊社オンラインショップでお求めください。
オンラインショップ URL ▶ <http://shop-casa-delonghi.com>

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

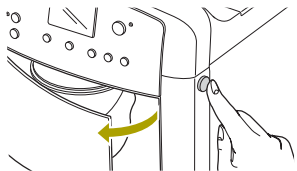
欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



各部の名称とはたらき

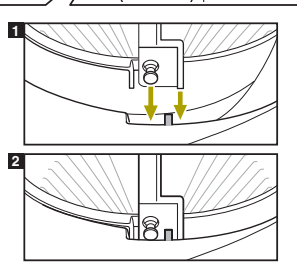
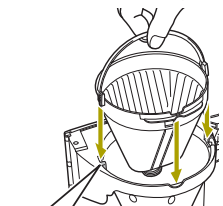
フィルターの設定

- ①ガラスジャグを降ろした状態で OPEN ボタンを押し、スイングバスケットを開ける

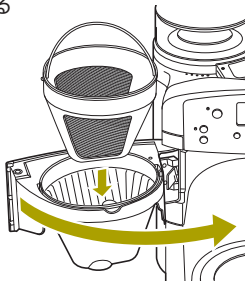


- ②ホルダー受けに、フィルターホルダーをセットする

※取っ手を持ち、図の向きにフィルターホルダーをセットします。



- ③フィルターホルダーにフィルターをセットし、スイングバスケットを閉める



グラインダー粒度調整ポインタ

コーヒー豆の挽き具合（粒度）の表示です。左が細かい粒度、右に進むにつれて粗い粒度になります。（12 ページ参照）

豆ホッパーふた

豆ホッパー

コーヒー豆を投入します。グラインダー粒度調整ポインタに合わせて、時計回り、反時計回りに回すと、コーヒー豆の挽き具合（粒度）を調整できます。（12 ページ参照）※豆ホッパーにコーヒー豆以外のものを投入しないでください。（故障の原因）

フィルター（ゴールドフィルター）

取っ手

フィルターホルダー

ホルダー受け

スイングバスケット

ガラスジャグを降ろした状態で OPEN ボタンを押すと開きます。

ドリッパー（弁）

ガラスジャグをセットすると、弁が開きます。

保温プレート

内部に電気ヒーターがあり、コーヒー抽出時および保温中に熱くなります。

ゴールドフィルターに使用するコーヒー粉は…

中挽きから粗挽きのコーヒー粉を使用してください。中挽きよりも細かい粉を使用すると、多量のコーヒーを抽出する際に、溢れてくるおそれがあります。また、ゴールドフィルターは微細な穴からコーヒーを通す構造になっているため、粒度の細かいコーヒー粉がコーヒーに混じることがありますが、製品の不具合ではありません。気になる場合は、市販のペーパーフィルターをお使いください（サイズ 1 × 4、または 103）。

体

グラインダー（ミル）

豆を挽きます。

挽き豆用シュート

グラインダーで挽かれた豆は、挽き豆用シュートを通してフィルターに落ちます。

活性炭フィルターケース（9 ページ参照）

給水タンクふた

蒸気口

コーヒー抽出（給湯）の際に、高温の蒸気が出てきます。

給水タンク

最大水量：1.4L

水量表示目盛

目盛（2～10）は、抽出したいコーヒーの杯数です。

コントロールパネル

※詳細は 7～8 ページ

OPEN ボタン

ガラスジャグを降ろした状態でボタンを押すと、スイングバスケットが開きます。（5 ページ参照）

電源コード

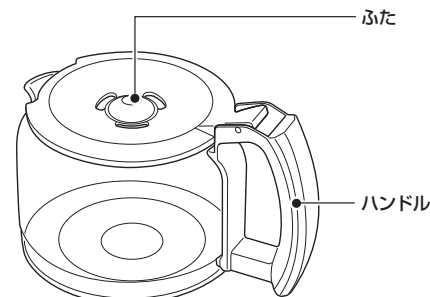
電源プラグ

電源プラグを抜くときのご注意

以下の設定は、電源プラグをコンセントから抜くと約 1 分後にリセットされます。

- 挽き豆量設定
- コーヒー濃度
- 現在時刻／タイマー時刻
- 活性炭フィルター交換お知らせ機能
- アロマ機能

ガラスジャグ

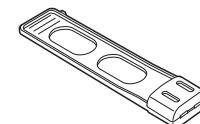


付属品

活性炭フィルター（ガラスジャグ内に入っています）



活性炭フィルターケース（本体装着済）



ガラスジャグ（本体装着済）



計量スプーン（ガラスジャグ内に入っています）



お手入れ用ブラシ（ガラスジャグ内に入っています）



各部の名称とはたらき (つづき)

コントロー

ルパネル

挽き豆量設定ボタン

コーヒー豆を使って抽出する際、挽き豆量の設定に使用します。ボタンを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が **2 → 4 → 6 → 8 → 10** の順に変わります。抽出したい杯数を表示させてください。



※ 設定ができるのは挽き豆量のみです。抽出されるコーヒー液の量は、給水タンクに入れた水量により決まります。

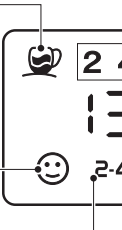
液晶ディスプレイ

通電マーク

電源プラグをコンセントに差し込むと表示されます。コーヒー抽出が完了すると点滅します。(10、12、14 ページ参照)

活性炭フィルター交換マーク (9、18 ページ参照)

アロマ機能表示マーク
アロマ機能が設定されている時に表示されます。



プレイの表示

挽き豆量設定表示

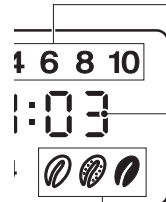
コーヒー豆を使って抽出する際、抽出したい杯数を表示させます。

時刻表示

現在時刻が表示されます。また、タイマー抽出時刻設定時に使用します。(9、15 ページ参照)

コーヒー濃度

コーヒー濃度ボタンを押すと、表示が切り替わります。



フィルターボタン

活性炭フィルターの交換時期をお知らせする機能の設定に使用します。

活性炭フィルターの取り付けを行った後、**FILTER** (フィルター) ボタンを押して活性炭フィルターお知らせ機能を ON にしてください。



ON にすると、活性炭フィルター交換マーク (18 ページ参照) が表示されます。

豆抽出ランプ

コーヒー豆を使って抽出するとき、その後保温するときに点灯します。

GRIND (豆抽出) ボタン

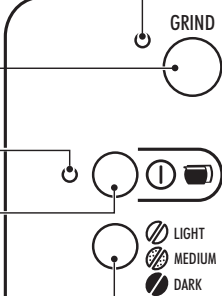
コーヒー豆を使って抽出する場合、および挽き豆用シュートの清掃時に使用します。(12、20 ページ参照)

パウダー抽出ランプ

コーヒー粉を使って抽出するとき、その後保温するときに点灯します。

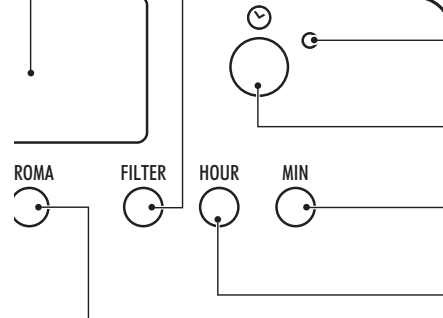
① (パウダー抽出) ボタン

コーヒー粉を使って抽出する場合、および挽き豆用シュートの清掃時に使用します。(10、14、20 ページ参照)



コーヒー濃度ボタン

コーヒー豆を使って抽出する際、コーヒー濃度の設定に使用します。ボタンを押すたびに、液晶ディスプレイのコーヒー濃度表示が **☉ (LIGHT)**、**☉ (MEDIUM)**、**☉ (DARK)** の順に変わります。



タイマーランプ

タイマー抽出時刻の設定時に点滅、タイマー抽出が設定されている状態で点灯します。

☉ (タイマー) ボタン

タイマー抽出の設定に使用します。(15 ページ参照)

MIN ボタン

時刻の「分」を進めるときに押します。(9、15 ページ参照)

HOUR ボタン

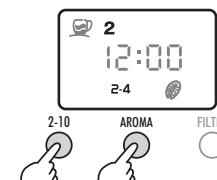
時刻の「時」を進めるときに押します。(9、15 ページ参照)

アロマボタン (2、4 杯の抽出時のみ有効)

アロマ機能の設定に使用します。

抽出をゆっくりと行うことで、アロマが引き出され、こくのある風味豊かな味わいになります。「挽き豆量設定ボタン」の説明にしたがい、挽き豆量設定で「2」あるいは「4」を選んだ後、**AROMA** (アロマ) ボタンを押して **2-4** を表示させます。

※ 挽き豆量設定ボタンを押すと、アロマ機能が解除されます。



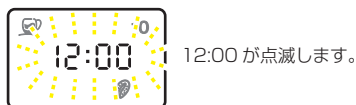
アロマ機能が設定されると、**2-4** が表示されます。

初めてお使いになる前に

初めて本製品をお使いになる前に、現在時刻の設定、活性炭フィルターの取り付け、内部洗浄

現在時刻の設定

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む



- 2 HOURボタンを押して「時」を設定する



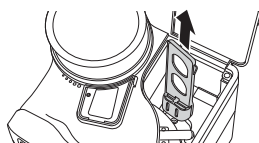
- 3 MINボタンを押して「分」を設定する



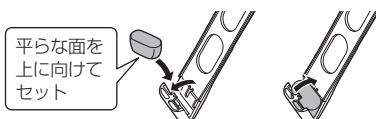
活性炭フィルターの取り付け

- 1 付属の活性炭フィルターを包装から出し、水道水でよくすすぐ

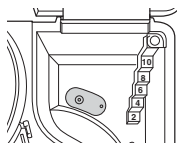
- 2 給水タンクから活性炭フィルターケースを取り外す



- 3 活性炭フィルターをセットする
活性炭フィルターケースの下部を開け、活性炭フィルターをセットし、閉じます。

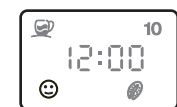


- 4 活性炭フィルターケースを元に戻す
給水タンク内の活性炭フィルターケース受け部分に、活性炭フィルターケースを差し込みます。



- 5 活性炭フィルター交換お知らせ機能を ON にする

FILTER (フィルター) ボタンを押して、活性炭フィルター交換お知らせ機能を ON にします。



ON にすると、活性炭フィルター交換マーク (18 ページ参照) が表示されます。



淨を行います。※活性炭フィルターの取り付け、内部洗浄は、必ず行ってください。

内部洗浄 (必ず行ってください)



給湯中には以下の行為を絶対に行わないでください。やけど・感電・けが・故障のおそれがあります。



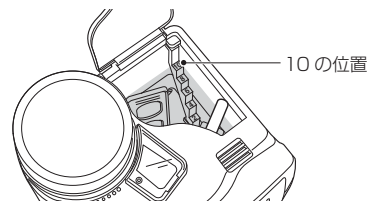
子供に使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない／蒸気口に顔や手を近づけない／本体を移動しない／ふたを開けない／ガラスジャグを動かさない／カラだきしない

注意

初めてお使いになる場合は、各パーツおよび水の通道の洗浄 (内部洗浄) をしてください。コーヒー粉を入れずにガラスジャグ 2 杯分のお湯を抽出することで、内部洗浄が完了します。

- 1 給水タンクに水を入れる

水量表示目盛 10 の位置まで水を入れてください。

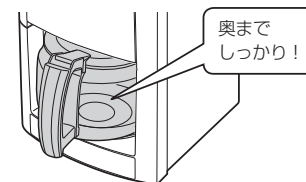


※水量表示目盛 10 の位置より多く水を入れしないでください。

- 2 ガラスジャグを降ろした状態でスイングバスケットを開け、フィルターをセットする

(5 ページ参照)

- 3 ガラスジャグを、保温プレートの中央に置く



コーヒーの抽出（豆を使う）

初めてお使いになるときは、内部洗浄を行ってください。（10 ページ参照）

材 料

コーヒー豆

お好みの焙煎度（ロースト）のレギュラーコーヒー用コーヒー豆を使用してください。



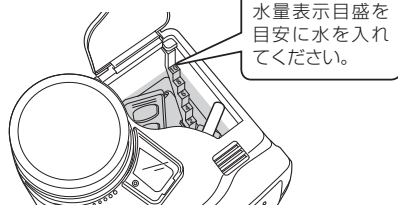
水

新鮮な水道水（浄水器・清水器を通した水も含む）や軟水（硬度 90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。

※硬水を使用すると石灰分が詰まりやすくなります。



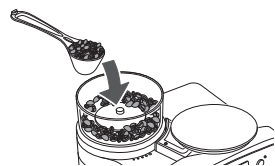
1 お好みの量の水を、給水タンクに入れる



※水量表示目盛 10 の位置より多く水を入れな
いください。

2 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる

豆ホッパーふたを開けてコーヒー豆を入
れ、ふたを閉じます。



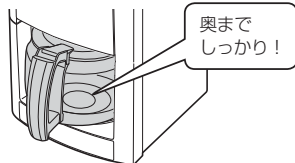
●コーヒー豆の量は、抽出杯数 1 杯につき、
計量スプーン小山盛り 1 杯が目安です。

※焙煎されたコーヒー豆のみを使用してくだ
さい。冷凍したコーヒー豆やフレーバーコー
ヒー豆は使用しないでください。（故障の
原因）

3 ガラスジャグを降ろした状態 でスイングバスケットを開け、 フィルターをセットする

（5 ページ参照）

4 ガラスジャグを、保温プレート の中央に置く

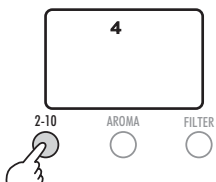


5 お好みに応じて、挽き豆量、コー ヒー濃度、アロマ機能を設定する （7、8 ページ参照）

※設定は、必ず抽出する前に行ってください。
GRIND（豆抽出）ボタンを押した後では変更
できません。

●挽き豆量設定

※設定できるのは挽
き豆量のみです。
抽出されるコー
ヒー液の量は、給
水タンクに入れた
水量により決まり
ます。

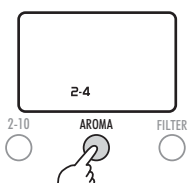


●コーヒー濃度設定



●アロマ機能設定

※2、4 杯抽出時の
み有効です。



給湯中には以下の行為を絶対に行わないでください。やけど・感電・けが・故障のおそれがあり
ます。



子供に使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない／蒸気口に顔や手を近づけない／本体
を移動しない／ふたを開けない／ガラスジャグを動かさない／カラだきしない

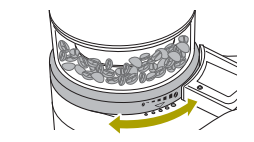
6 GRIND（豆抽出）ボタンを押し た後、豆の挽き具合を調整し、 コーヒーを抽出する

GRIND（豆抽出）ボタンを押します。



ボタンを押すと、
豆抽出ランプが
点灯し、グライ
ンダーが作動し
ます。

グラインダーが作動している間に、豆ホッ
パーを回して豆の挽き具合（粒度）を調
整します。



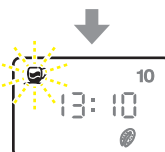
時計回りに回すと
細かく、反時計回
りに回すと粗くな
ります。



注 意

豆ホッパーは、必ずグラインダーが作
動しているときに回してください。グ
ラインダーが停止しているときに無理
に回すと、故障の原因となります。

豆が挽かれた後、抽出が始まります。



通電マークが点
滅します。

抽出完了です。

※挽き豆量とコーヒー濃度の設定に対して、
投入した豆の量が多かった場合は、豆ホッ
パーの中に豆が残る場合があります。

※抽出を途中で中止するときは、GRIND（豆
抽出）ボタンを押して、豆抽出ランプを
消灯させます。

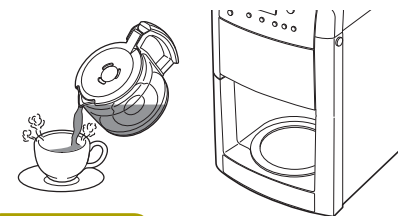
7 抽出終了後、電源を切り、ガラ スジャグを降ろす

抽出が終わったら、GRIND（豆抽出）ボタ
ンを押して電源を切ります。



豆抽出ランプが
消えます。

その後、ガラスジャグを保温プレートから
降ろし、コーヒーカップに注ぎます。



保温するとき

抽出終了後も GRIND（豆抽出）ボタンを押
さずにいると、コーヒーが保温されます。
抽出が終わってから 2 時間後に自動的に電
源が切れます。

※コーヒー本来の「アロマ」と「風味」は、時
間の経過と共に失われていきます。なるべく
早くにお召し上がりください。

ヒント アイスコーヒーの作り方は…

アイスコーヒーの作り方は、16 ページを参照
してください。

ヒント コーヒーがめろく感じる場合は…

コーヒーの抽出前にあらかじめ内部洗浄（10
ページ参照）することにより、寒い冬場など
でも熱いコーヒーを作ることができます。
内部洗浄で給湯したお湯でカップを湯煎すると
さらに効果的です。

コーヒーの抽出（豆を使う）

コーヒーの抽出（コーヒー粉を使う）

初めてお使いになるときは、内部洗浄を行ってください。（10 ページ参照）

材 料

コーヒー粉

粗挽きから中挽きの新鮮なコーヒー粉を使用してください。



水

新鮮な水道水（浄水器・清水器を通した水も含む）や軟水（硬度 90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。

※硬水を使用すると石灰分が詰まりやすくなります。



コーヒー粉の量（目安）

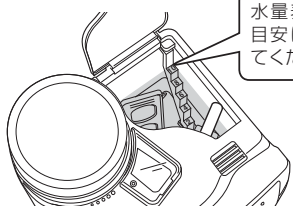
抽出杯数 1 杯につき、計量スプーンすりきり 1 杯（約 7g）が目安です。

●コーヒーの種類、焙煎度、粒度などに応じて、お好みにより調節してください。

※10 杯（最大量）より多く、コーヒー粉を入れないでください。

抽出杯数	コーヒー粉の量 (計量スプーンの杯数)	給水タンクの水量 (水量表示目盛)
2 杯	2 杯 (約 14g)	2
4 杯	4 杯 (約 28g)	4
6 杯	6 杯 (約 42g)	6
8 杯	8 杯 (約 56g)	8
10 杯	10 杯 (約 70g = 最大量)	10

1 お好みの量の水を、給水タンクに入れる



水量表示目盛を目安に水を入れてください。

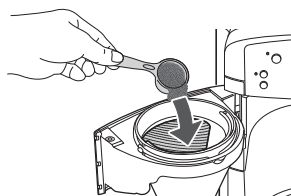
※水量表示目盛 10 の位置より多く水を入れないでください。

2 ガラスジャグを降ろした状態でスイングバスケットを開け、フィルターをセットする

（5 ページ参照）

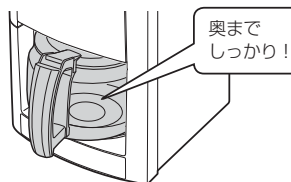
3 フィルターにコーヒー粉を入れる

付属の計量スプーンを使ってお好みの量のコーヒー粉を入れ、粉の上面をならし、スイングバスケットを閉じます。



※コーヒー粉の目安については、上記「コーヒー粉の量」を参照してください。

4 ガラスジャグを、保温プレートの中央に置く



奥まで
しっかり！



給湯中には以下の行為を絶対に行わないでください。やけど・感電・けが・故障のおそれがあります。



子供に使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない／蒸気口に顔や手を近づけない／本体を移動しない／ふたを開けない／ガラスジャグを動かさない／カラだきしない

5 お好みに応じてアロマ機能を設定する

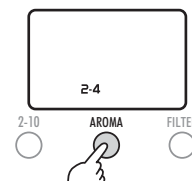
（8 ページ参照）

※アロマ機能は 2、4 杯の抽出時のみ使用してください。（過度にコーヒー成分が抽出されるのを防ぐため）

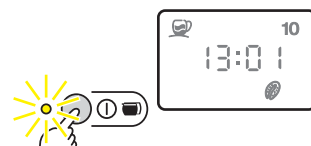
※アロマ機能の設定は、必ず抽出する前に行ってください。①（パウダー抽出）ボタンを押した後は変更できません。

●アロマ機能設定

※2、4 杯抽出時のみ有効です。

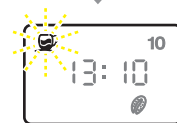


6 ①（パウダー抽出）ボタンを押し、コーヒーを抽出する



パウダー抽出ランプが点灯します。

抽出が始まります。



通電マークが点滅します。

抽出完了です。

※抽出を途中で中止するときは、①（パウダー抽出）ボタンを押して、パウダー抽出ランプを消灯させます。

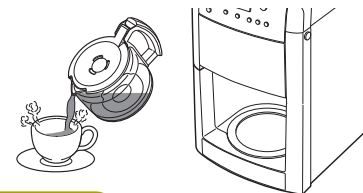
7 抽出終了後、電源を切り、ガラスジャグを降ろす

抽出が終わったら、①（パウダー抽出）ボタンを押して電源を切ります。



パウダー抽出ランプが消えます。

その後ガラスジャグを保温プレートから降ろしコーヒーカップに注ぎます。



保温するとき

抽出終了後も ①（パウダー抽出）ボタンを押さずにいると、コーヒーが保温されます。抽出が終わってから 2 時間後に自動的に電源が切れます。

※コーヒー本来の「アロマ」と「風味」は、時間の経過と共に失われていきます。なるべく早くにお召し上がりください。

ヒント アイスコーヒーの作り方は…

アイスコーヒーの作り方は、16 ページを参照してください。

ヒント コーヒーがめろく感じる場合は…

コーヒーの抽出前にあらかじめ内部洗浄（10 ページ参照）することにより、寒い冬場などでも熱いコーヒーを作ることができます。内部洗浄で給湯したお湯でカップを湯煎するとさらに効果的です。

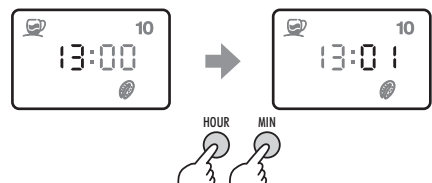
タイマー抽出の設定

タイマー抽出には現在時刻が設定されている必要があります。正しく設定されているか確認してください。（「現在時刻の設定」（9 ページ参照））

- 1 (タイマー) ボタンを長押しし、タイマーランプを点滅させる



- 2 タイマー抽出時刻を設定する
HOURボタンを押して「時」を、MINボタンを押して「分」を設定します。



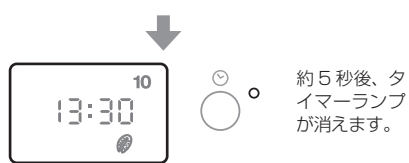
- 3 タイマーランプが点滅している状態で、お好みの設定をする

タイマー抽出の設定ができるのは、タイマーランプが点滅状態のときのみです。設定中にランプが消えてしまった場合、もう一度 (タイマー) ボタンを長押しして設定を再開してください。

コーヒー豆を使う場合

※パウダー抽出ランプが点灯しているときは、 (パウダー抽出) ボタンを押して消灯させた後、下記の設定を行ってください。

- 1 挽き豆量、コーヒー濃度、アロマ機能を設定する
(7、8 ページ参照)



- 2 (タイマー) ボタンを押す



設定時刻になると抽出が始まります。

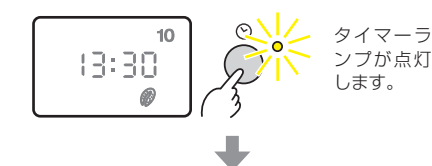
コーヒー粉を使う場合

- 1 お好みに応じてアロマ機能を設定する
(8 ページ参照)

- 2 (パウダー抽出) ボタンを押す



- 3 (タイマー) ボタンを押す



設定時刻になると抽出が始まります。

アイスコーヒーの作りかた

コーヒー豆を使う場合

アイスコーヒーの場合、最大 4 杯まで抽出できます。豆ホッパーに入れる豆の量および挽き豆量設定表示はご希望の抽出杯数の 2 倍にします。

抽出杯数	豆ホッパーに入れる豆の量 (計量スプーンの杯数)	挽き豆量 設定表示	給水タンクの水量 (水量表示目盛)
2 杯	4 杯	4	2
4 杯	8 杯	8	4

※アロマ機能の設定は、アイスコーヒー 2 杯分抽出時 (= 挽き豆量設定表示は 4) のみ可能です。

●挽き豆量設定は 7 ページを参照してください。

抽出後は・・・

グラスに約 8 分目まで氷を入れてからコーヒーを注ぎ、かきまぜて冷やします。お好みに応じてシロップやミルクなどを入れてください。



コーヒー粉を使う場合

アイスコーヒーの場合、最大 4 杯まで抽出できます。コーヒー粉の量はご希望の抽出杯数の 2 倍にします。

抽出杯数	コーヒー粉量 (計量スプーンの杯数)	給水タンクの水量 (水量表示目盛)
2 杯	4 杯 (約 28 g)	2
4 杯	8 杯 (約 56 g)	4

※アロマ機能の設定は、アイスコーヒー 2 杯分抽出時 (= 使用コーヒー粉量は計量スプーン 4 杯分) のみ可能です。

抽出後は・・・

グラスに約 8 分目まで氷を入れてからコーヒーを注ぎ、かきまぜて冷やします。お好みに応じてシロップやミルクなどを入れてください。



お手入れ

お手入れはこまめに!

いつも清潔な状態で使用するために、こまめにお手入れしましょう。

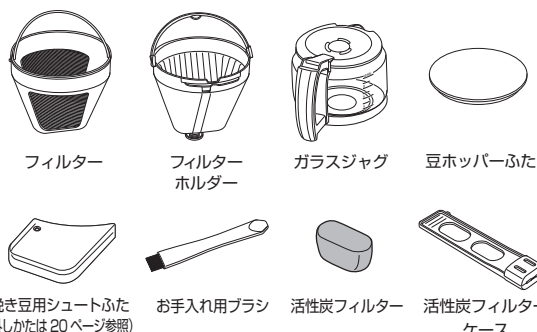


- ① お手入れをするときは、電源プラグを抜き、本体が完全に冷めてから行ってください。(挽き豆用シュートの清掃は除く)
- ② 本体を水に浸けたり、水洗いしないでください。
- ③ 挽き豆用シュートに指を入れないでください。

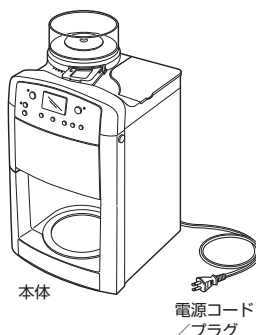
お手入れ時のご注意

- ・給水タンクに水は残さないでください。
- ・研磨剤、ガラス磨き、シンナー、漂白剤、アルコールなどは使用しないでください。
- ・ワイヤーウール、たわし、金ブラシ、研磨スポンジなどは使用しないでください。
- ・水洗いした部品は、乾かしてから本体に戻してください。
- ・食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使わないでください。

洗える



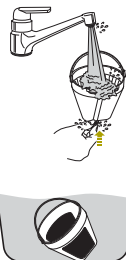
洗えない (汚れるたびに) お手入れする



毎日のお手入れ

フィルター、フィルターホルダー

- ・使用後は、毎回、台所用食器用洗剤と柔らかいスポンジで洗い、水ですすぎます。
- ・フィルターホルダーは、ドリッパーを押し上げて水ですすぎてください。
- ・フィルターがコーヒーの粉で目詰まりした場合は、少量の台所用食器用洗剤を入れたぬるま湯にしばらく浸けてから、水ですすぎてください。



必要なときに行うお手入れ

本体表面 (拭く)

- ・固く絞った濡れ布きんで拭きます。
- ・汚れがひどい場合は、少量の台所用食器用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れ布きんで洗剤をよく拭き取ってください。

電源コード/プラグ (拭く)

乾いた布で拭いてください。

活性炭フィルター

2 日以上お使いにならなかった場合、活性炭フィルターケースから取り外し、ていねいに水で洗った後、よく乾かしてください。
(カビが発生したり、ケースの内側によごれがたまるおそれがあります。)

※台所用食器用洗剤などは使用しないでください。

活性炭フィルターの交換

液晶ディスプレイに☺ (活性炭フィルター交換マーク) が点滅表示されたら、活性炭フィルターを交換してください。活性炭フィルターを交換して (活性炭フィルター交換お知らせ機能を ON にして) 70 回抽出を行うと、☺ が点滅します。



※本体が常に電源コンセントに接続されていて、活性炭フィルター交換お知らせ機能が ON になっている場合のみ有効です。

- ① FILTER (フィルター) ボタンを押して、活性炭フィルター交換マークを消灯させる
- ② 活性炭フィルターを交換する
「活性炭フィルターの取り付け」(9 ページ) を参照してください。
- ③ FILTER (フィルター) ボタンを押して、活性炭フィルター交換お知らせ機能を ON にする



ON にすると、活性炭フィルター交換マークが表示されます。

注意 電源プラグをコンセントから抜くと約 1 分後に活性炭フィルター交換お知らせ機能はリセットされます。

お手入れ (つづき)

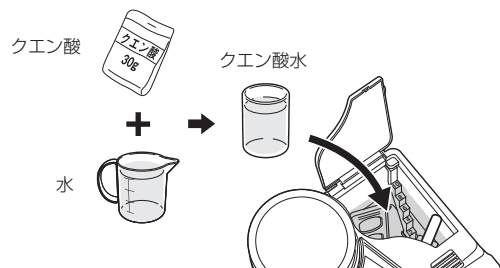
必要なときに行うお手入れ

石灰分の除去

長く使っていると、内部の給湯管などに水中の石灰分が付着し、お湯の出が悪くなる場合があります。

約 6 ヶ月に一度を目安に、石灰分の除去を行ってください。

- ① 約 500cc の水に、約 30g のクエン酸を溶かし、給水タンクに入れる



※ 水量表示目盛 10 の位置より多く入れないでください。

- ② ガラスジャグを保温プレートの中央に置き、①㊟ (パウダー抽出) ボタンを押す

※ フィルター (ゴールドフィルター) はセットしないでください。

- ③ 約 1 分後、①㊟ (パウダー抽出) ボタンを押し、給湯を止める

- ④ 15 分ほど待ち、①㊟ (パウダー抽出) ボタンを押し、給湯を再開する

- ⑤ 給湯が終わったら、①㊟ (パウダー抽出) ボタンを押して電源を切り、ガラスジャグ内のお湯を捨てる

- ⑥ 「内部洗浄」(10 ページ) の手順 ①～⑥ の操作を計 4 回 (クエン酸水のにおいがとれるまで) 行う

● 給水タンクには水だけを入れます。

ヒント クエン酸は…

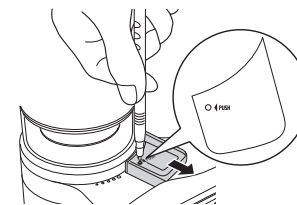
クエン酸はお近くのスーパーや薬局でお買い求めください。
また、市販のクエン酸 100% のポット洗浄剤もお使いいただけます。

挽き豆用シュートの清掃

- ① 電源プラグをコンセントに差し込む

- ② 挽き豆用シュートのふたを取り外す

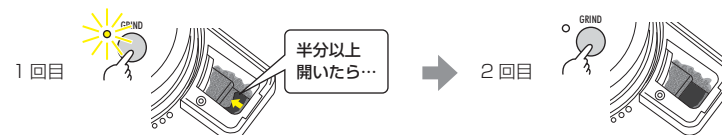
◀ PUSH と表示された突起部を先のとがったもので下に押しながら、挽き豆用シュートふたを手前に引き、取り外します。



- ③ 挽き豆用シュートを開く

挽き豆用シュートを見ながら GRIND (豆抽出) ボタンを押します (1 回目)。

挽き豆用シュートが半分以上開いたら、直ちに再度 GRIND (豆抽出) ボタンを押します (2 回目*)。これでシュートは開いた状態になります。



※ GRIND (豆抽出) ボタンはグラインダーを動作させるボタンです。2 回目を押さないでいると、グラインダーが作動しコーヒー粉が飛び散る場合があります。必ず挽き豆用シュートが開いたらグラインダーが作動する前に GRIND (豆抽出) ボタンを押してください。

- ④ 挽き豆用シュート内のコーヒー粉を、お手入れ用ブラシで開口部に落とす

● 落としたコーヒー粉はフィルターにたまります。

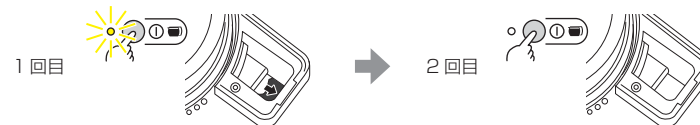


注意 挽き豆用シュートに指を入れないでください。

- ⑤ 挽き豆用シュートを閉じる

挽き豆用シュートを見ながら ②㊟ (パウダー抽出) ボタンを押します (1 回目)。

挽き豆用シュートが閉じたら直ちに再度 ②㊟ (パウダー抽出) ボタンを押します (2 回目★)。

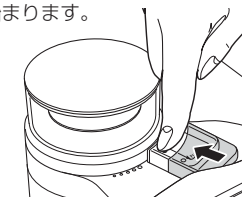


★ 2 回目の ②㊟ (パウダー抽出) ボタンを押さずにいると、給湯が始まります。

- ⑥ スイングバスケットを開け、フィルターにたまったコーヒー粉を捨てる

- ⑦ 挽き豆用シュートのふたを取り付ける

突起部を下に押しながら、豆ホッパー方向にスライドさせます。



故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに使用を中止して、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて以下の点を確認してください。それでも正常に機能しないときは、お買い求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

症 状 (状 態)	考えられる原因	対処のしかた	
1. コーヒーが抽出されない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込む	
	給水タンクに水が入っていない	給水タンクに水を入れる	
	フィルターホルダーの取り付けが不完全	ホルダー受けに正しくしっかりと取り付ける → 5 ページ参照	
	フィルターの取り付けが不完全	フィルターホルダーに、正しい向きでセットする → 5 ページ参照	
	ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている	ドリッパーを押し上げて水ですすぐ → 17 ページ参照	
	ガラスジャグが保温プレートに正しく設置されていない	ガラスジャグを奥までしっかり押し入れ、保温プレートの中央に置く	
	からの抽出 豆	GRIND (豆抽出) ボタンを押していない	GRIND (豆抽出) ボタンを押して、豆抽出ランプを点灯させる
		コーヒー豆が入っていない	豆ホッパーにコーヒー豆を入れる
からの抽出 粉	☉ (パウダー抽出) ボタンを押していない	☉ (パウダー抽出) ボタンを押して、パウダー抽出ランプを点灯させる	
	コーヒー粉が入っていない	フィルターにコーヒー粉を入れる	
2. コーヒーの抽出が遅い	給湯管に石灰分が付着している	石灰分の除去をする → 19 ページ参照	
	ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている	ドリッパーを押し上げて水ですすぐ → 17 ページ参照	
3. コーヒーに多量の粉が混じる	コーヒー豆の挽き具合が細かいすぎる	挽き具合を粗くする → 12 ページ参照 市販のペーパーフィルターを使用する	
4. コーヒーがガラスジャグから溢れる	給水タンクの水量が最大量を超えている	最大水量 (水量表示目盛 10) を超えないようにする	
	専用のガラスジャグを使用していない	専用のガラスジャグを使用する	

☐

（パウダー抽出）ボタンを押していない

症 状 (状 態)	考えられる原因	対処のしかた
5. コーヒーがスイングバスケットから溢れる	フィルターホルダーの取り付けが不完全	ホルダー受けにしっかりと取り付ける → 5 ページ参照
	ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている	ドリッパーを押し上げて水洗いする → 17 ページ参照
	フィルターが目詰まりしている	少量の台所用食器用洗剤を入れてぬるま湯にしばらく浸けてから水ですすぐ → 17 ページ参照
	フィルターの取り付けが不完全	フィルターホルダーに、正しい向きでセットする → 5 ページ参照
	コーヒー粉の入れすぎ	コーヒー粉の最大量（計量スプーンすりきり 10 杯）を超えないようにする
	ガラスジャグが保温プレートに正しくセットされていない	ガラスジャグを奥までしっかり押し入れ、保温プレートの中央に置く
6. OPENボタンを押してもスイングバスケットが開かない	ガラスジャグが保温プレートに乗っている	ガラスジャグを保温プレートから降ろして、OPEN ボタンを押す

故障かな？